

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	Roughly(ラフリー)
取組	(2)地域の女性グループの活動支援
構成員数	6人(うち、女性の人数:6人) (令和4年4月時点)

1 事業実施方針

各農業女子が地域のグループに参加する目的の1位は「勉強会や見学会などへの参加」。
そして今後取り組みたいテーマの1位も同じで、第2位に「情報収集」とある。(2022.11.25 第9回農業女子プロジェクト推進会議資料より)
私たち自身も「時間がなくグループに参加できない」「地域に馴染めないけれど誰かと繋がりたい」「地域に学びの場所や刺激を受ける場所がない」という女性農業者の課題を感じていた中、農業女性次世代リーダー育成塾や農業女子PJにより多くの女性農業者とのネットワークができた。
そこからそれぞれの地域でのグループ活動、そして何より自身の経営や家庭環境の改善に発展したことを実感しているからこそ、コロナで弱くなった繋がりや新たな出会いの場継続的に提供していく。

◆ 定期的な音声配信による認知、交流

音楽やラジオを聴きながら作業する農業者は多い。その耳の可処分時間に roughly の配信を。

【期間】 R4年5月～R5年2月 (承認時期の関係から、6月開始の可能性あり)

【回数】 全10回

【内容】 ・全国女性農業者と roughly メンバーの対談

(就農の経緯、普段の暮らしの様子、悩みごと、今後の展望など)

・農業情報

(各地域の農業女子の活動について、補助金情報など)

・roughly 勉強会の告知

【ターゲットとの関係性】

新規就農者

就農希望者 ⇔ ・先輩女性就農者のリアルな声と農業情報

・全国の女性農業グループ、女性農業者をつなぐ(HP,SNS)

女性農業者 ⇔ ・女性農業者仲間のリアルな声

・孤立している女性農業者と全国女性農業者グループ、女性農業者をつなぐ

(HP,SNS)

・自身も発信者となり、全国的に農産物を含む自己PRでファン(消費者、女性農業

者、共感者)獲得

・見逃しがちな農業女子 PJ のメール配信、補助金情報を耳から入れる

◆継続的な「学ぶ」機会

コロナ環境下、家族との関係性などで諦めていた勉強会参加を諦めさせない。

また、オンラインでは得られないリアルな交流再開の足掛かりにするために、オンライン・オフライン、ハイブリッドによる勉強会開催も実施。

目的は、より深い農業経営を学ぶ機会を提供すること。

学びにより女性農業者個人の活躍・地域の女性農業者グループでの活躍に繋がる。

オンライン勉強会開催

【開催日程】第1回 6月

第2回 9月

第3回 11月

【内容】

第1回 女性経営コンサルタントからの講演

第2回 農業関係団体からの講演

第3回 インタビュー配信者の中から、もしくはリスナーから配信希望のリクエストが多かった農業者の講演

※勉強会の内容はアーカイブ化し、後日オンデマンド配信する※

ハイブリット勉強会開催

【開催日程】8月

【オフライン会場】都内レンタル会議室

【内容】統計心理学 I-Colour 講習会

ビッグデータに基づく統計心理学による自己分析を経営やマネジメントに活かす(仮)

※勉強会の内容はアーカイブ化し、後日オンデマンド配信する※

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

◆具体的な実施体制

1、運営方法について

・講師やインタビュー対象者選定、勉強会開催内容等についての具体的事項は、都度オンライン上のワークスペース(Slack)を使用して打ち合わせを行い、必要に応じてオンライン会議(ZOOM)を使用して決定する。

2、勉強会

・講師の依頼や講演内容の打ち合わせは主にコアメンバーが行う

3、配信

・役員とアドバイザー会員6名で順番にインタビュアーを担当する

・HP への記事原稿はインタビュアーが各自まとめて全員で内容確認後、HP 制作業者に掲載を依頼

◆構成員の勉強会や交流会主催の経験を活かす

【参考】

※コアメンバー、アドバイザーメンバーの過去の実績

・オンライン勉強会企画、実施

・オンライン勉強会運営(zoom ホスト、録画)

・オフライン勉強会企画、実施

・オフライン交流会企画、実施

・HP、SNS 発信

◆構成員の農業者ネットワークを活かす

・農業者次世代リーダー育成塾受講者、農業女子プロジェクト参加者の全国的な女性農業者のネットワークを活用

【参考】

※実績※

コアメンバーは、各地域の農業女子プロジェクトの立ち上げや役員を経験

◆構成員の居住地、作柄などが異なるため、情報の偏りが少ない。

<地区>北海道から九州まで

<作柄>畜産、施設栽培、露地栽培、果樹

<販売体系>BtoC, BtoB

<経営体への所属属性>個人事業主、個人事業専従者、法人責任者、株式会社取締役

<販売範囲>国内、輸出、生活圏内

<その他>六次化、農家カフェの実績

◆構成員

【役員】

コアメンバー3名

【アドバイザー会員】

アドバイザーメンバー3名

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組
 (1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(現在までの取り組み)</p> <p>【アドバイザーメンバー】</p> <p>在住都道府県農業大学校就農説明会にて 学生への呼びかけ</p> <p>(今後の取り組み)</p> <p>1) 音声配信(Podcast)での農業情報配信</p> <p>—内容— <5分>挨拶トーク <20分>農業者インタビュー対談 <3分>農業情報(補助金、全国農業女子グループの紹介など) <2分>クロージングトーク</p> <p><インタビュー対象予定者></p> <p>第1回 5月 大規模農家で輸出に取り組んでいる女性農業者 第2回 6月 畜産分野での新規就農者 第3回 7月 若手新規就農者(時期等を交渉中) 第4回 8月 40代新規就農者(交渉中) 第5回 9月 水産女子の先駆者 第6回 10月 未定 第7回 11月 未定 第8回 12月 地域活性や販売に取り組んでいる畜産農家 第9回 1月 未定 第10回 2月 未定</p>	<p>毎年</p> <p>1年間で10回の配信</p> <p>年間で10回以上の配信</p>	

<p>* 未定のインタビュー対象者候補は現時点では以下の方々の中から、役員・アドバイザー会員により選考と交渉予定</p> <p>※女性農業者のリアルな話から、農業との距離を近づける</p> <p>※新規就農者もインタビューし、新規就農者の関心に応える</p> <p>※roughly の HP へ誘導</p> <p>2)農業大学校の学生へ roughly の活動を周知・就職説明会で直接呼びかけ・各農業大学校へメールにて依頼</p>	<p>・HPに貼られた全国の女性農業者団体のリンクから、各女性農業者団体へ直接コンタクトをとれる体制にする</p> <p>全国</p>	
--	---	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(現在までの取り組み)</p> <p>・コアメンバー3名は各地の農業女子プロジェクトの立ち上げ、役員としての運営に携わっている。</p> <p>(今後の取り組み)</p> <p>1)音声メディア(Podcast)での農業情報配信 —内容—</p> <p>—内容—</p> <p><5分>挨拶トーク</p> <p><20分>農業者インタビュー対談</p> <p><3分>農業情報(補助金、全国農業女子グループの紹介など)</p> <p><2分>クロージングトーク</p>	<p>1) リアル農業情報のプラットフォームと認知されるために継続的に(10回)配信する</p>	

<p><インタビュー対象予定者></p> <p>第1回 5月 大規模農家で輸出に取り組んでいる女性 農業者</p> <p>第2回 6月 畜産分野での新規就農者</p> <p>第3回 7月 若手新規就農者(時期等を交渉中)</p> <p>第4回 8月 40代新規就農者(交渉中)</p> <p>第5回 9月 水産女子の先駆者</p> <p>第6回 10月 未定</p> <p>第7回 11月 未定</p> <p>第8回 12月 地域活性や販売に取り組んでいる畜産 農家</p> <p>第9回 1月 未定</p> <p>第10回 2月 未定</p> <p>※roughly の HP へ誘導</p> <p>(2) ・オンライン勉強会の開催</p> <p>【開催日程】第1回 6月 第2回 9月 第3回 11月</p> <p>【内容】</p> <p>第1回 女性経営コンサルタントからの講演</p> <p>第2回 農業関係団体からの講演</p> <p>第3回 インタビュー配信者の中から、もしくはリスナー から配信希望のリクエストが多かった農業者の講演</p> <p>※勉強会の内容はアーカイブ化し、後日オンデマンド配信する※</p> <p>ハイブリット勉強会開催</p> <p>【開催日程】8月</p>	<p>・HP に貼られた全国の 女 性農業者団体のリンク か ら、各女性農業者団体へ 直接コンタクトをとれる 体 制にする</p> <p>1年間で3回実施 参加者 10名×3回 30名を目指す</p>	
---	--	--

<p>【オフライン会場】都内レンタル会議室</p> <p>【内容】統計心理学 I-Colour 講習会</p> <p>ビッグデータに基づく統計心理学による自己分析を経営やマネジメントに活かす(仮)</p> <p>※勉強会の内容はアーカイブ化し、後日オンデマンド配信する</p>	<p>1年間で1回実施</p> <p>オンライン参加者 10名</p> <p>オフライン参加者 10名</p> <p>合計 20名を目指す</p>	
--	---	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(現在までの取組み)</p> <p>・コアメンバー3名は各地の農業女子プロジェクトの立ち上げ、役員としての運営に携わっている。</p> <p>(今後の取組み)</p> <p>1)音声メディア(Podcast)での農業情報配信</p> <p>—内容—</p> <p><5分>挨拶トーク</p> <p><20分>農業者インタビュー対談</p> <p><3分>農業情報(補助金、全国農業女子グループの紹介など)</p> <p><2分>クロージングトーク</p> <p><インタビュー対象予定者></p> <p>第1回 5月 大規模農家で輸出に取り組んでいる女性農業者</p> <p>第2回 6月 畜産分野での新規就農者</p> <p>第3回 7月 若手新規就農者(時期等を交渉中)</p> <p>第4回 8月 40代新規就農者(交渉中)</p> <p>第5回 9月 水産女子の先駆者</p> <p>第6回 10月 未定</p>		

<p>第 7 回 11 月 未定 第 8 回 12 月 地域活性や販売に取り組んでいる畜産農家 第 9 回 1 月 未定 第 10 回 2 月 未定</p> <p>*未定のインタビュー対象者候補は現時点では 以下の方々の中から、役員・アドバイザー会員に より選考と交渉予定*詳細は添付の別資料参照</p> <p>(2) ・オンライン勉強会の開催</p> <p>【開催日程】第 1 回 6 月 第 2 回 9 月 第 3 回 11 月</p> <p>【内容】</p> <p>第1回 女性経営コンサルタントからの講演 第2回 農業関係団体からの講演 第3回 インタビュー配信者の中から、もしくはリスナーから配信希望のリクエストが多かった農業者の講演 ※勉強会の内容はアーカイブ化し、後日オンデマンド配信する ※</p> <p>ハイブリット勉強会開催</p> <p>【開催日程】8 月 【オフライン会場】都内レンタル会議室 【内容】統計心理学 I-Colour 講習会</p> <p>ビッグデータに基づく統計心理学による自己分析を経営やマネジメントに活かす(仮) ※勉強会の内容はアーカイブ化し、後日オンデマンド配信する</p>	<p>1 年間で 3 回実施 参加者 10 名×3 回 30 名を目指す</p> <p>1 年間で 1 回実施 オンライン参加者 10 名 オフライン参加者 10 名 合計 20 名を目指す</p>	
---	--	--

(注) 農業委員等に出選された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	仕事のほか家事と育児のために時間がなくてグループに参加できない、という女性農業者ならではの悩みがある
②	自分の故郷ではない就農した地域に馴染めないが、同業者との繋がりが欲しい
③	就農した地域に学びの場所や刺激を受ける場所がない
④	他者の経営や活動などのケーススタディを学ぶ機会が少なく、自身の経営に不安がある
⑤	女性農業者や新規就農者目線での求める情報が収集しにくい

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①②③④⑤	音声メディアの配信
①②③④⑤	オンライン勉強会の開催
②③④⑤	オフライン勉強会の開催
①②③⑤	情報収集・交流のためのサイトを作成する

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	多忙な女性農業者が限られた時間でグループに所属することができるよう、オンラインでつながることのできるプラットフォームを作る。グループでの音声配信はもちろん、勉強会もアーカイブとすることで、グループとしての繋がりを感じつつ、学びや活動に参加できる。
②	地域で仲間づくりが難しくても、オンライン上で全国の女性農業者と繋がることできる。また、オフラインでの勉強会も開催するので、出会いの場を提供できる。
③	地域で勉強会がなくても、オンラインで全国各地の講師から学びを得ることができる(初年度は4回を予定)。
④	音声配信では全国各地のさまざまな属性の女性農業者に対して、女性農業経営者としての視点からインタビューをする(初年度は10名を予定)。出会って話を聞くことが難しい人のケーススタディを学ぶことで自家の経営にも役立つことができる。HPでもインタビュー対象者特集ページを作るので、より深く学ぶことができる。
⑤	音声配信やHP内で、我々女性農業者が必要とする情報を掲載していく。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容(対象者・方法等)	事業実施経費(費目、金額)	備考
①②③ ④⑤	2022年5月から2023年2月まで毎月	対象者:全国の農業女性 女性農業者のインタビューを音声配信(初年度は10回を予定)。	配信用機材 21,058円(ヘッドセット) ヘッドセット送料 9,455円	見積書添付
①②③④⑤	2022年6月、9月、11月	対象者:全国の農業女性10名程度 オンライン勉強会配信 ※ただし、アーカイブ化しオンデマンド配信可能とし、当日の不参加者も見ることができるようにする	講師への謝礼 136,365円 (各 45,455円)	謝金規定に基づき算出
①②③④⑤	2022年8月	対象者:全国の農業女性20名程度(オンライン10名、オフライン10名) ハイブリッド勉強会実施 ※ただし、アーカイブ化しオンデマンド配信可能とし、当日の不参加者も見ることができるようにする	講師への謝礼 45,455円 会場使用料金 22,050円 グループ役員旅費 221,925円 会議昼食代 10,910円	旅費規定に基づき算出 見積書添付 根拠資料添付
①②③ ④ ⑤	2022年5月	ホームページ作成 ロゴマーク作成	45,455円 27,273円	見積書添付 見積書添付

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	50人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 40人、雇用就農者 10人、アルバイト・ボランティア等 0人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。